

# 決算説明会 2023年2月期 第2四半期（第41期）

## ソーバル株式会社

東京証券取引所 スタンダード市場  
証券番号：2186

2022年10月6日  
代表取締役社長 兼 最高経営責任者

推津 敦

総スライド数：12ページ

# 目次

---

はじめに	ソーバルグループ概要
上半期の総括	1-1 業績ハイライト 1-2 財政状態・キャッシュフロー 1-3 売上構成比   セグメント/主要顧客 1-4 売上構成比   セグメント/契約種別 1-5 総括
今期の展望	2-1 今期の見通しと業績予想 2-2 配当予想・株主優待 2-3 トピックス   品質評価事業の承継による影響 2-4 トピックス   新しい働きかたへの投資

# ソーバルグループ概要

**設立** 1983年1月

**資本金** 2億1,426万円

**売上高** 81億6,377万円 (\*)

**事業内容** (\*)

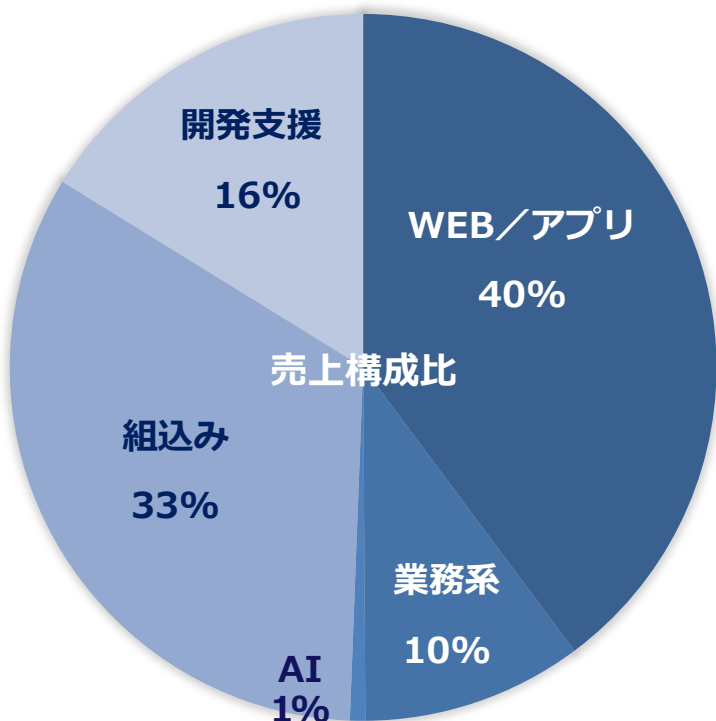
**本社所在地** 東京都品川区

**従業員数** 979名 (\*)

**平均年齢** 37.7歳

**主な開発実績**

- デジタルカメラ・ビデオ
- 家庭用ゲーム機
- 各種プリンタ、複合機
- 企業向け業務系アプリ
- スマホアプリ
- 医療統計解析
- AIデータ分析など



**子会社**

- アンドールシステムサポート株式会社  
1969年11月設立 資本金9,900万円
- 株式会社コアード  
1987年2月設立 資本金2,000万円

# 業績ハイライト

(百万円)	2022年2月期		2023年2月期					
	2Q	通期	2Q				通期	
	実績	実績	実績	対前年同期 増減率	予想	達成率	予想	達成率
売上高	4,027	8,163	<b>4,200</b>	<b>4.3%</b>	4,160	101.0%	8,000	52.5%
営業利益	290	603	<b>454</b>	<b>56.3%</b>	290	156.6%	630	72.1%
経常利益	318	637	<b>455</b>	<b>42.9%</b>	300	151.9%	640	71.2%
親会社株主に 帰属する 四半期(当期) 純利益	208	447	<b>549</b>	<b>163.3%</b>	200	274.6%	670	82.0%

## Point

- 予定案件の変更により外部委託を内製に切り替えたことで、利益大幅増。
- 通期業績予想は品質評価事業の承継により、売上は前回予想を下回る見通しとなったが、営業利益・経常利益は据え置き。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は承継による特別利益により増加。

# 財政状態・キャッシュフロー

(百万円)	2022年2月期 2Q	2022年2月期 通期	2023年2月期 2Q
総資産	4,334	4,649	<b>5,058</b>
純資産	3,317	3,433	<b>3,906</b>
自己資本比率	76.3%	73.5%	<b>76.9%</b>
営業活動によるCF	133	430	<b>302</b>
投資活動によるCF	△9	△10	<b>369</b>
財務活動によるCF	△125	△250	△ <b>133</b>
現金及び現金同等物の 期末残高	2,291	2,461	<b>3,000</b>

## Point

- 自己資本比率は依然高い水準を維持
- 投資活動によるCFは、事業分離による収入371百万円が含まれます

# 売上構成比 | セグメント / 主要顧客

	2021年2月期 通期	2022年2月期 通期	2023年2月期 2Q
ソニーグループ	28.4%	31.0%	<b>31.1%</b>
富士通グループ	12.4%	11.7%	<b>13.5%</b>
キャノングループ	13.4%	7.7%	<b>8.7%</b>
リクルートグループ	4.4%	4.4%	<b>4.7%</b>
日立グループ	4.1%	3.5%	<b>3.7%</b>
トヨタグループ	3.5%	3.2%	<b>2.7%</b>
首都高速道路技術センター	0.2%	0.2%	<b>2.1%</b>
その他	33.6%	38.3%	<b>33.5%</b>

## Point

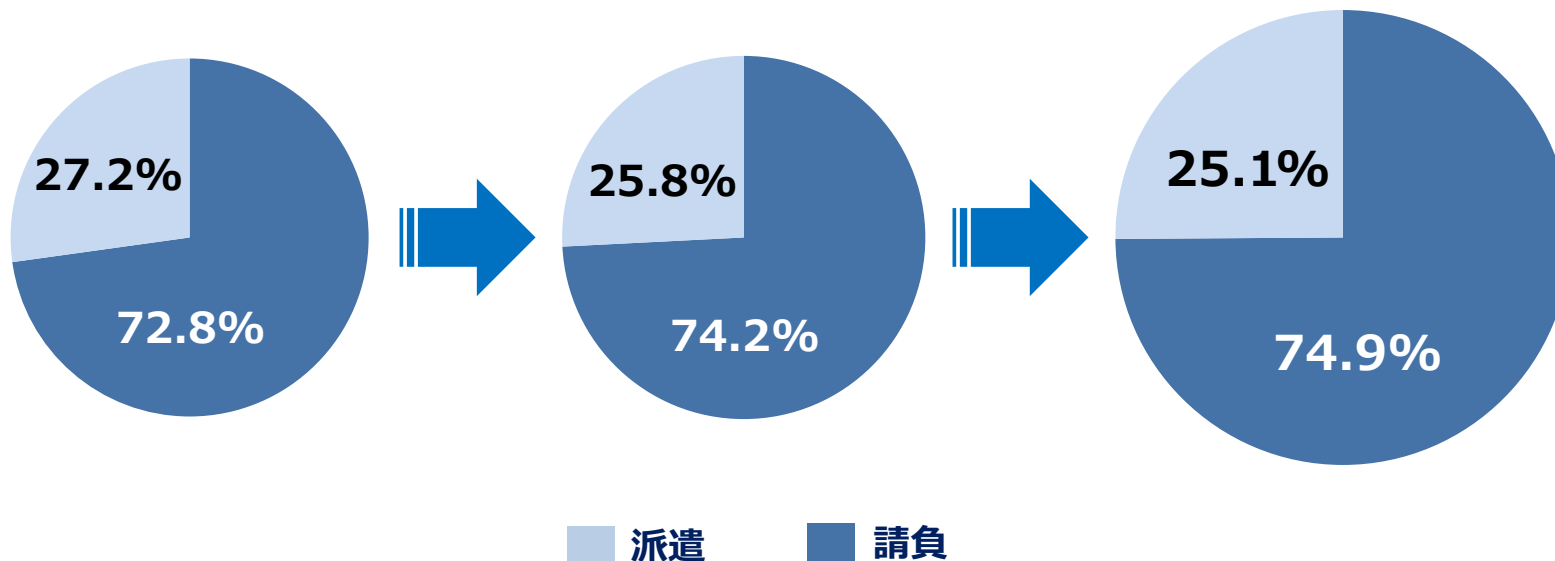
- ソニー、リクルート、日立：ほぼ横ばい
- 富士通グループ：増加
- 一般財団法人 首都高速道路技術センター：増加
- その他：新規、既存取引先ともに順調に増加

# 売上構成比 | セグメント / 契約種別

2021年2月期 通期

2022年2月期 通期

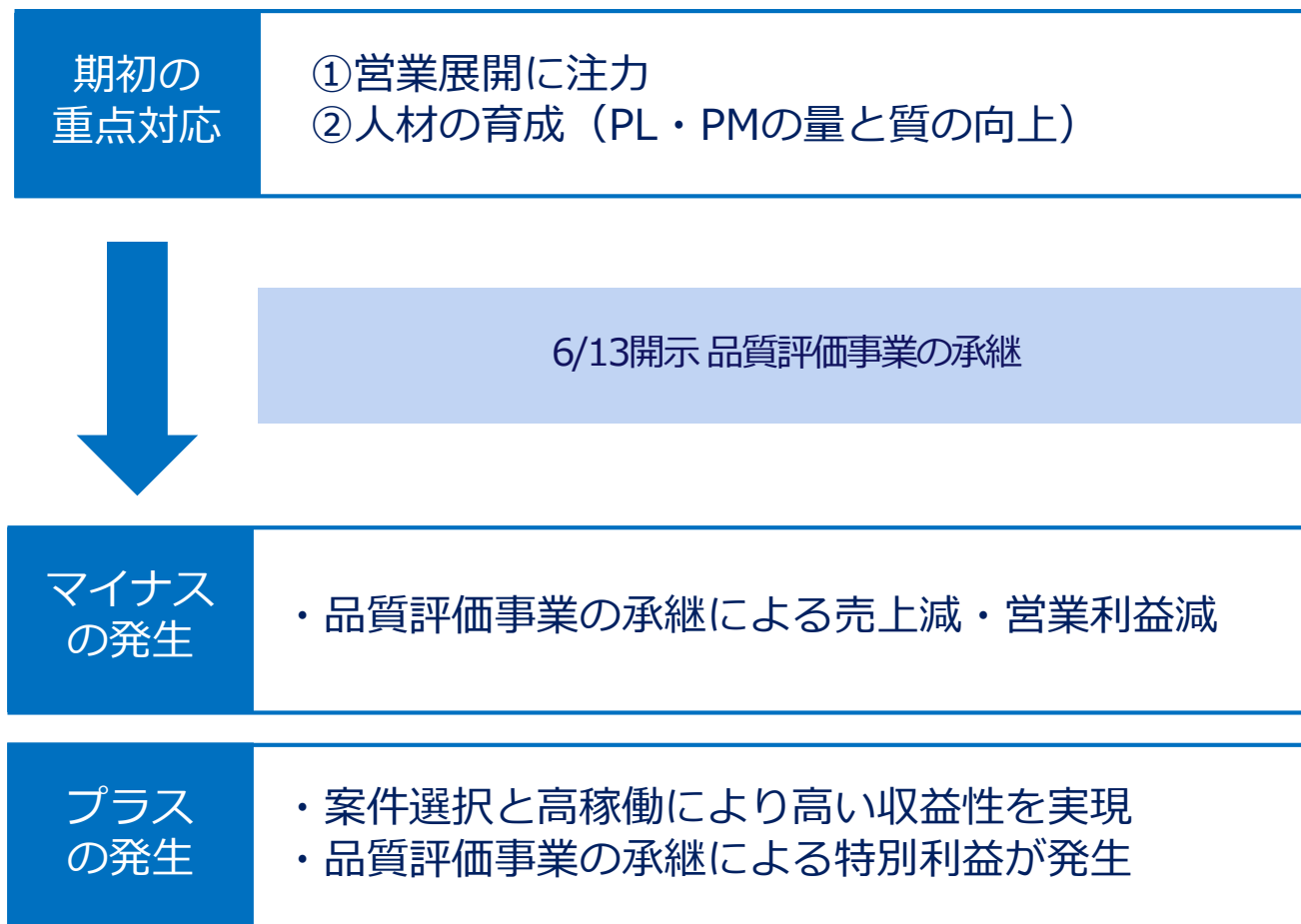
2023年2月期 2Q



## Point

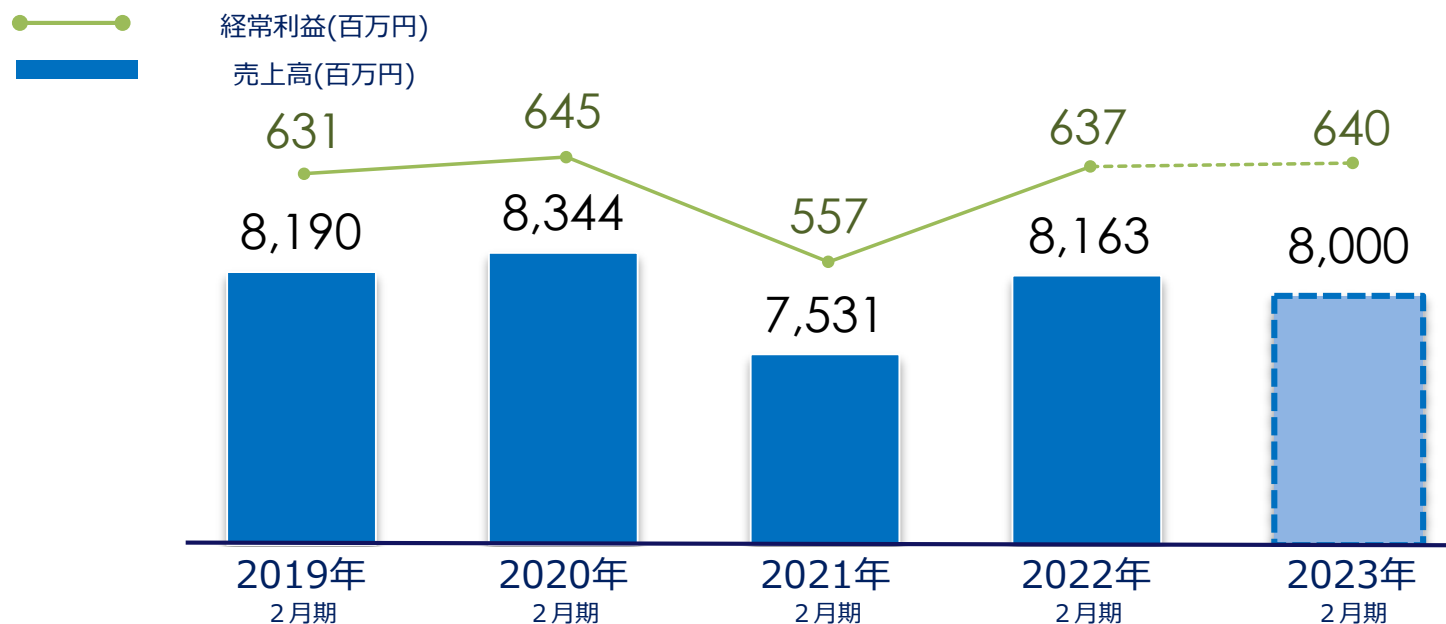
- 請負比率は順調に増加
- 引き続き質の高い請負を増やし、70%~80%の比率の維持を目指す

# 総括





# 今期の見通しと業績予想



## テーマ

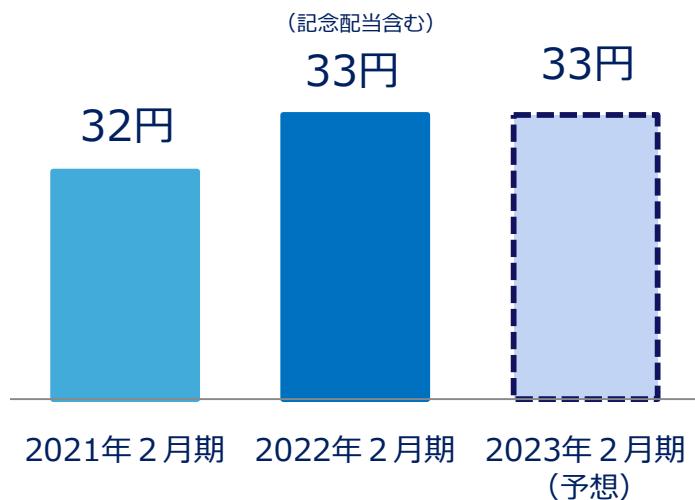
中期経営計画実現のための土台づくり

## Point

- AI人材の育成と、PL・PMの確保をより加速化
- 新規案件獲得営業への注力
- 品質評価事業の承継に伴う中期経営計画の見直し（期末開示を予定）

# 配当予想・株主優待

	一株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
2023年2月期（予想）	<b>実績</b> 16円50銭	16円50銭	33円00銭
2022年2月期	16円00銭	16円00銭 +記念配当 1円00銭	33円00銭
2021年2月期	16円00銭	16円00銭	32円00銭



## Point

- 品質評価事業の承継により売上予想は減も利益は確保。配当も期初発表を据え置き。

## 株主優待制度

対象	優待内容
1単元以上 10単元未満	500円相当QUOカード
10単元以上	2,000円相当QUOカード

## 1 品質評価事業の承継による影響

### 目的

### 事業の選択と集中

#### 【背景】

- 中期経営計画では、新しい技術に挑戦し社会に貢献していくことを掲げ、AIなどの新技術領域に対して経営リソースを集中していくことを重要施策と捉えることとした。

#### 【今後】

- ソーバルの信頼・信用をより強固なものにするため、あらゆる場面で一層の品質向上に取り組む。
- 通期着地予測での売上においては、影響が避けられず下方修正とした。
- これにともない中期経営計画の見直しを検討中である。

## 2 新しい働きかたへの投資

### 目的

### 社員エンゲージメントを強化

#### 【状況】

- ・ アフターコロナ、withコロナを見据えた新しい働き方が常態化

#### 【対応】

- ・ ヒューマンリソース（HR）組織を新設
- ・ 在宅勤務手当の新設
- ・ オフィスリニューアルの実施
- ・ 研修制度の充実